

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		岩瀬体育館管理運営事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020402000078
総合計画の施策名		0204	生涯スポーツ活動の振興			単独/補助	単独	所属課	090501	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興					グループ	スポーツ振興G	
	手段名	02	②快適な施設利用の推進					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	02	01	00	単年度繰返し (平成6年度～)			
法令根拠	桜川市体育施設設置及び管理に関する条例						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>(設置の目的) 市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るための体育施設として、市が管理運営する事業である。</p> <p>(施設の概要) ①所在地 桜川市岩瀬2685-14 ②延床面積 3,700㎡(アリーナ・トレーニングルーム・ステージ・放送室・ランニングコース・観客席・ミーティングルーム) ③開館時間 午前9時から午後9時30分まで ④休館日 (1)毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあつてはその直後の休日でない日) (2)12月29日から翌年1月3日まで</p>	<p>(事務事業の手段) 職員5名、会計年度任用職員5名(昼夜ローテーション(昼 8:30~17:15、夜 17:15~21:30))が従事している。 ①体育館の貸し出し業務・・・利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することができる。利用者からは使用料金を徴収している(減免の制度適用有り)。 ②体育館の維持管理・・・維持管理のための保守点検等の委託契約、施設の不具合・故障箇所の修繕等、安全管理を行い、施設の利用者が安心安全に利用できる環境をつくる。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
①体育館の貸し出し業務 ②体育館の維持管理	保守点検回数(委託含)	回	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
	利用可能日数	日	309.00	309.00	309.00	309.00	309.00
	委託業者数	社	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	人口(常住人口)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
体育館を利用してスポーツを楽しんでもらう。	年間利用者数	人	56,147.00	54,895.00	55,000.00	56,000.00	57,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度		06年度		07年度		08年度		09年度		期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)					
			国庫支出金	千円	0	0	0						
			県支出金	千円	0	0	0						
			地方債	千円	0	0	0						
			使用料・手数料	千円	2,990	3,458	3,480						
			その他	千円	0	0	0						
			一般財源	千円	37,470	40,965	52,355						
			事業費計(A)	千円	40,460	44,423	55,835						
			正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人						

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)				07年度事業費 予算(千円)			
	01 報酬	8,290			01 報酬	10,618		
03 職員手当等	3,165			03 職員手当等	4,530			
08 旅費	145			08 旅費	145			
10 需用費	21,334			10 需用費	22,445			
11 役務費	218			11 役務費	287			
12 委託料	6,906			12 委託料	6,990			
13 使用料及び賃借料	2,368			13 使用料及び賃借料	5,428			
14 工事請負費	1,151			14 工事請負費	3,707			
17 備品購入費	846			17 備品購入費	1,685			
			合計	44,423			合計	55,835

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るため施設維持管理、イベントの企画等行っていく。	市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るため施設維持管理、イベントの企画等行っていく。	市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るため施設維持管理、イベントの企画等行っていく。

事務事業名	岩瀬体育館管理運営事業	事務事業No.	20402000078	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 岩瀬体育館の建設に伴い、平成6年度から施設の利用が開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 経年使用のため、既存機器の交換の要望が多数ある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るための体育施設の管理運営は、市民がスポーツを楽しむことができる機会と場の提供に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化している施設に対して、随時修繕を実施する必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の経年使用による修繕費や保守点検委託料などの維持管理費に関して削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収しているので、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・年々老朽化による修繕等の維持管理に関する費用が増えている状況にある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加					○		維持			×		低下			×
成果	向上	コスト																								
		削減	維持	増加																						
				○																						
	維持			×																						
	低下			×																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 経年劣化により修繕箇所が年々増加しているため、設計業者等に相談し構造的な観点からコストパフォーマンスの良い修繕計画をたてる。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>